

ただただ素晴らしい…
私はこの映画が
大好きだ。

FilmWeek (KPCC - NPR Los Angeles)

非常に魅力的な映画

Guardian

私は医者ではないが、
分断された社会を
潜在的に治療するために
この映画を処方したいと思う。

The Patriot Ledger



人生は正解のない問いの連続 考えて、考えて、歩む

北アイルランド、ベルファストにあるホーリークロス男子小学校。ここでは「哲学」が主要科目になっている。エルヴィス・プレスリーを愛し、威厳と愛嬌を兼ね備えたケヴィン校長は言う。「どんな意見にも価値がある」と。彼の教えのもと、子どもたちは異なる立場の意見に耳を傾けながら、自らの思考を整理し、言葉にしていく。授業に集中できない子や、喧嘩を繰り返す子には、先生たちが常に共感を示し、さりげなく対話を持ちかける。自らの内にある不安や怒り、衝動に気づき、コントロールすることが、生徒たちの身を守る何よりの武器となるとケヴィン校長は知っている。かつて暴力で問題解決を図ってきた後悔と挫折から、新たな憎しみの連鎖を生み出さないために、彼が導き出した1つの答えが哲学の授業なのだ。



世界を魅了する！北アイルランド版『ぼくの好きな先生』

北アイルランド紛争によりプロテスタントとカトリックの対立が長く続いたベルファストの街には「平和の壁」と呼ばれる分離壁が存在する。1998年のベルファスト合意以降、大まかには平和が維持されているが、一部の武装化した組織が今なお存在し、若者の勧誘に余念がない。争いの記憶は薄れやすく、平和を維持するのは簡単ではない。その困難はケヴィン校長と生徒たちの対話の端々にも現れる。宗教的、政治的対立の記憶と分断が残る街で、哲学的思考と対話による問題解決を探るケヴィン校長の大いなる挑戦を映画化したのは、アイルランドで最も有名なドキュメンタリー作家のナーサ・ニ・キアナンと、ベルファスト出身のデ克蘭・マッグラの二人。およそ2年に及ぶ撮影期間中にパンデミックが起これ、インターネット上のトラブルという新たな問題が表面化するなど、子どもたちをめぐる環境の変化も捉えている。ケヴィン校長と生徒による微笑ましくも厳粛な対話がニコラ・フィリベールの『ぼくの好きな先生』を彷彿とさせ、国内外の映画祭で多くの賞を受賞した注目作！



監督：ナーサ・ニ・キアナン、デ克蘭・マッグラ 出演：ケヴィン・マカリーヴィーとホーリークロス男子小学校の子どもたち
日本語字幕：吉田ひなこ 字幕監修：西山溪 後援：駐日アイルランド大使館/ブリティッシュ・カウンシル カトリック中央協議会 広報推薦 配給：doodler
配給宣伝協力：エスパス・サロウ 宣伝：リガード 2021/アイルランド・イギリス・ベルギー・フランス/英語/102分/カラー/16:9/5.1ch/ドキュメンタリー
原題：Young Plato © Solis Films, Aisligh Productions, Clin d'oeil films, Zadig Productions, MMXXI youngplato.jp

★7月9日(日) 13:10~の上映後 トークイベント開催！

ゲスト：神戸和佳子さん（長野県立大学講師）

綿内真由美さん（長野県屋代高等学校教諭）

司会：馬場智一さん（長野県立大学教授）

※ゲストは予告なく変更になる場合がございます。

土屋陽介さん（開智国際大学准教授）

清水秀昭さん（長野市立南部小学校校長）

長野相生座・ロキシー

TEL：026-232-3016

2023年7月7日(金)より上映

【当日料金】窓口通常料金 ※各種割引サービス適用

